

函館市農地利用最適化推進委員候補者の推薦・応募状況について（最終公表）

[個人による推薦]

なし

[法人，団体等による推薦]

なし

[応募]

氏名	年齢 (歳)	性別	職業	経歴		農業経営の状況			応募 する 区域	応募理由	農業委員 への 推薦・ 応募
				年月日	職名等	営農 類型	経験 年数	経営 年数			
金澤 賢昌	66	男	農業	H17年7月 ～H29年7月 H29年7月 ～現在	函館市農業委員会委員 函館市農地利用最適化推進委員	露地野菜	37	33	東 部 中央部 北 部	農地利用最適化推進委員を通して，函館市の農家の減少 や農地の減少をなくすための努力をする。 また，現在進めている地域計画で有効な農地利用を進め ていきたいため。	なし
松浦 麻紀子	53	女	農業			水稲	26	26	東 部 中央部	今現在農業を取り巻く状況が厳しくなっています。その 中，農業環境の向上を目指していくなかで，少しでも農業 環境を良くしていくために自分が関わる仕事がしたくて応 募しました。	なし
泉 宗伯	47	男	農業	R1.4～R3.3 R6.4～R7.3 R5.10～現在	函館市亀田農業協同組合理事 〃 函館市農地利用最適化推進委員 東部地区担当	露地野菜 施設野菜	27	16	東 部 中央部 北 部	自分の農業経験を活かし，地域農業の持続性向上の手伝 いが出来ればと思い応募しました。	あり
山口 修	76	男	農業	S42.4～H21.2 H22.3～H28.3 H28.4～現在 R2.7～現在	函館市亀田農業協同組合勤務 函館市亀田農業協同組合 常勤監事 函館市亀田港町 役員 函館市農地利用最適化推進 委員	露地野菜	66	15	北 部	函館市の農業を進める中で、後継者不足及び新規参入さ れる方々のため、活動して参りたい。	なし
近江 政夫	76	男	農業	H 7.3～H22.3 H28.3～R7.3 H19.4～H22.3 R1.4～R4.3 R7.4～現在 H11.7～現在	函館市亀田農業協同組合理事 〃 函館市亀田農業協同組合 学経理事 渡島蔬菜農協理事 〃 函館市農業委員会委員	露地野菜	54	30	中央部	将来の農業の在り方や農地の効率的かつ総合的な利用 を促進する。 地域計画の達成のため農業の健全な発展に努める。	あり

[応募の続き]

氏名	年齢 (歳)	性別	職業	経歴		農業経営の状況			応募 する 区 域	応募理由	農業 委員 への 推薦 応募
				年月日	職名等	営農 類型	経験 年数	経営 年数			
佐々木 芳勝	67	男	農業	H21.7～H29.7 H29.7～現在 H30.4～現在	函館市農業委員会委員 函館市農地利用最適化推進委員 新函館農業協同組合理事	水 稲 露地野菜 施設野菜	52	40	中央部	地域農業を永続的に守るため提案による農地の集積， 遊休農地発生防止や解消ができればと思い申込しました。	なし
坂爪 康晃	52	男	農業	R7.4～現在	函館市亀田農業協同組合理事	露地野菜	15	14	中央部	次の世代に明るい農業のバトンを渡す一助になれば と思います。	なし
大久保由紀子	51	女	農業	H7.4～ H8.8～ H17.10～ H18.4～ H20.10～現在	(株)チカラフーズ 食品分析員 朝日食品(株) 食品分析員主任 工業技術センター食品分析員 酪農学園大学 入学 (株)駒ヶ岳ファーム大久保 設立・代表取締役	露地野菜 施設野菜	18	18	中央部 北 部	酪農学園大学入学前から，日本農業の可能性や社会貢献 活動を視野に入れながら入学して大学で学び，卒業後は目 標を達成するため農業法人を立ち上げて，目標に一步步 邁進していきました。その中で，修学旅行生の受入事業に 応募し中学生から高校生を受け入れして，少しでも農業の 楽しさを肌で感じて貰える努力をしてきました。そのお陰 か，農林水産省北海道農政事務所の依頼を頂き，農村派遣 研修の受け入れを通して入庁 2 年目の職員の方達へ農業 生産の楽しさや厳しさ，課題等を伝えて参りました。 しかしながら，農業環境を取り巻く速さは課題解決を進 めるより遥かに早く農水省で現場の課題解決を進めるの が難しくなっていく一方です。 そんな中で今回の募集を聞き，現場に一番近い推進委員 で微力ながら課題解決に参加させて頂きたいと思い応募 致しました。	あり
三谷 幸一	68	男	農業	H24.4～ H31.4～	(公財)北海道農業公社 審議役 北海道松前町農林課 参事	—	—	—	中央部	函館市を含む道南地域では農地の荒廃がすすみ，利用 価値を生み出せない農用地が増加しており，問題意識を もっておりました。また，農家戸数も減少しており，こ の傾向は今後もつづいていくという危機感すら抱いてお ります。 今回応募した理由は大きく 2 点あります。 1 函館市における農用地の将来のあり方について考える 2 荒廃農地（耕作放棄地）の解消方策を探ってみたい ということであります。 今迄，北海道農業公社や松前町農林課において担い手 支援や新規就農者支援の事業に携わってきた経験を生か して函館市の農地保全と農家の保護の役割の一助を担っ てみたいと思い応募いたしました。	なし